

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所ToTeTu	事業所番号	0110303039
住 所	札幌市東区北14条東7丁目1-36マサハルビル2F	管理者名	下間 千栄
電話番号	011-788-6567	対象年度	令和7年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所：就労継続支援ToTeTu 実施日程：2026年2月18日</p> <p>活動概要：事務代行の作業説明</p> <p>参加者数：約 20 名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>   <p>事務代行作業説明の様子</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>地域連携活動のねらい、地域にとってのメリット、対象者にとってのメリット</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ねらい：事務代行業務の作業手順や業務上の注意点についてレクチャーを受けることで実際の企業で求められる業務水準や仕事の進め方を理解し、利用者の能力向上および一般就労に向けた実践的なスキル習得を図ることを目的とする。</li><li>・メリット：実際の職場で必要とされる作業精度や業務マナー、効率的な作業方法を学ぶことができる。また、企業との連携を通じて利用者が一般就労をより具体的にイメージでき、就労意欲の向上にもつながる。</li></ul>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>実施した結果：事務代行業務における作業手順や注意点、実際の職場で求められる作業精度や業務の進め方についてレクチャーを受けた。利用者は説明を受けながら実際の作業を確認し、企業での業務を意識した形で作業に取り組む機会となった。</p> <p>得られた成果：作業手順や業務上の注意点への理解が深まり、作業の正確性や効率性の向上につながった。また、実際の職場で求められる働き方や姿勢を学ぶことで、利用者の一般就労に対する意識や意欲の向上が見られた。</p> <p>課題点：企業が求める作業スピードや正確性にはまだ差が見られるため、今後も継続的に実践的な訓練を行いスキル向上を図る必要がある。また、企業との連携機会を増やし、より実務に近い経験を積める環境づくりが課題である。</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

<p>(連携した結果に対する意見・評価) (地域連携の内容)</p> <p>事務代行業務の作業説明を通して、利用者の皆さんが真剣に話を聞き、作業手順を理解しながら丁寧に取り組んでいる様子が見られました。説明後の作業においても、指示内容を意識しながら取り組んでおり、継続的に経験を積むことで作業精度やスピードの向上が期待できると感じました。</p> <p>今回の取り組みは、利用者が一般就労に向けた実務的な経験を得る良い機会になったと思います。今後もこのような連携を継続することで、より実践的なスキルの習得につながることを期待しています。</p> <p>(利用者の様子・効果)</p> <p>利用者は企業職員の説明を真剣に聞き、作業手順や注意点を確認しながら取り組んでいました。実際の企業業務を想定した説明を受けることで、仕事に対する理解が深まり、より正確に作業を行おうとする姿勢が見られました。また、一般企業で求められる働き方を学ぶことで、一般就労に対する意識や意欲の向上にもつながりました。</p>			
連携先企業名	株式会社日本デジタル研究所	担当者名	田代圭祐